

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 ほほえみ福祉会	代表者	猪狩 恭典	法人・事業所の特徴	ほほえみの里は、住み慣れた地域で生活を続けたいという利用者様の願いを実現するため、家庭的な環境と地域住民の皆様との交流の元で、日常生活の支援や機能訓練を行います。 また、併設で特別養護老人ホームがあり、利用者様がより多くの方々と関わりを持つことができます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ほほえみの里	管理者	石井 克拓		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	2人	1人	人	5人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			「できている。」という評価が少ないので、「できている。」という評価が増えるようにして行ってほしい。	利用者一人ひとりの状態をしっかり把握し、利用者の目標が何かを理解して取り組み「できている」を増やすようにしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境			用事がないと立ち寄ることがない。 中・高校に声をかけ訪問する機会を設けた方がよい。	行事を今以上に企画し、まずは行事に、地域の方が多く参加して頂けるようにしていく。 学生に訪問して頂けるように学校に依頼する。
C. 事業所と地域のかかわり			町内に向けて新聞等を作成してはどうか。 事業所名入りの車が走っているとアピールになる。 知らせる工夫をしていった方がよい。(回覧板、ポスター等)	地域の回覧板や町内の広報等に載せて頂けるように取り組みをしていく。 また、ホームページの更新頻度を増やしていく。 事業所として町内行事に多く参加していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			どういう会議のことを指しているかわからない。 地域の介護を必要としている方がいても、本人の依頼がない限り施設側に相談はできない。	利用者を交えて町内の行事に参加していく。 町内にて開催する会議等に参加して、地域の方々と連携が図れるようにしていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み			<p>企業が参加できる地域の取り組みは自治防災のみで、クリーン作戦については、地域と合同ではなく、事業所のみで行っても良い。</p>	<p>クリーン作戦は事業所独自で行っていく。</p>
F. 事業所の防災・災害対策			<p>災害時等の一時避難先を再確認してほしい。(避難先が住民も避難する場所のため)</p>	<p>一時避難場所について行政に再度確認を行う。</p>

